



11月号 令和5年10月31日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

早いもので11月8日は立冬です。暦の上では冬ということですが、日中は半袖でも汗をかいてしまうくらいの気温です。今年は夏が過ぎてからいつまでも暑い日が続き、秋を感じる事が短かったように思います。まだ天気の良い日には、冷房を使用する日もあるくらいです。桜の木の葉も赤くならないうちに散り始め、紅葉を楽しめず残念に思っています。小学校の学習、特に1, 2年生の生活科では、四季を感じて学ぶことが多くありますが、温暖化により「本来」が年々変わってきてしまう現状があります。しかし、頭に雪を積もらせた富士山を見ると、冬が近づいてきていることを実感できますね。

また、例年になく早い時期からの全国的なインフルエンザ感染を危惧しています。今のところ本校では流行は見られず、子どもたちは元気いっぱい活動しています。引き続き、手洗い・うがい、換気に気を付けながら学習活動を行っていきたいと思います。

これから5年生はキャンプが、また各学年も校外学習等が予定されています。安全に、楽しく学ぶことができればよいと思っています。



学校へ行こう週間 ～ハッピーマーケット開催に向けて～

今年度の「学校へ行こう週間」は11月21日(火)、22日(水)、23日(木・祝)の3日間です。学校生活の普段の様子を見ていただけるよい機会ですので、ご多用の折とは存じますが是非ご来校いただき、子どもたちの活躍する姿をご覧ください。

23日には、子どもたちがとても楽しみにしている『ハッピーマーケット』があります。「小さな学校 大きな家族」が合言葉の鶴が台小学校。その特色の一つである「縦割り活動」に伴う行事である「ハッピーマーケット」を今年も開催する予定です。現在、全校遠足や授業で日頃より関係を深めてきた縦割りのグループごとに、お店を出す計画を立てて準備をしています。6年生を中心に、「どうしたらグループのみんなで仲良くできるか」「たくさんお客さん呼び、楽しませることができるか」等、一生懸命に考えて活動しています。すべきことや心配することが多くあり、6年生は本当に大変だと思います。でも、代々の先輩たちからしっかりと想いを引き継ぎ、リーダーとしてよく頑張っています。グループのみんなが6年生を頼りにしています。6年生から1年生まで全員が協力し、きっとすてきなお店を作ってくれることと思います。上級生が下級生をあたり前のように支援することで、小さな子が成長した時には、さらに下の子に対して、自然に支援することができます。このように、児童が相互に関係を築き大きな集団となって、自分たちの願いに向かって努力する経験を通して、本校の重点目標【「ひと・もの・こと」との豊かなかかわり合いの中で、考える力を伸ばす】ことに近づけることができると考えています。

PTA 保護者親睦会

コロナ禍に実施できなかった学年PTA活動(保護者親睦会)を今年度は実施することができ、うれしく思っています。子どもたちだけでなく、同じ学年の保護者の方々が親睦を深めることは、子どもたちの日々の生活の中で大変有効であると思います。親御さん同士が繋がり、子どもたちをさらに見守っていただけるとありがたいです。お子さんの会話に出てくるお友だちの顔を覚え、お互いに繋がっていくことができるとよいですね。よりよい親睦会となりますように願っています。

